

平成28年度

岐阜県次世代エネルギービジョン
の推進に向けた取組状況

平成28年11月
岐阜県

目 標

「持続可能で活力に満ちた清流の国」の実現
～エネルギー産業の創出・育成による活力に満ちた社会～

<3つの重点プロジェクト>

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

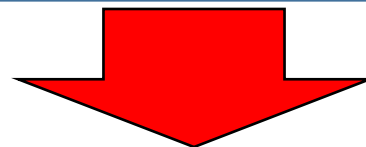
- ・再エネの導入促進に向けた技術開発等
- ・地域資源を活かした再エネの導入促進
- ・公共施設等への再エネの率先導入

2 エネルギー地産地消プロジェクト

- ・面的・効率的利用技術の開発
- ・中山間地域等における地産地消型エネルギーシステムの構築支援

3 次世代エネルギー使用定着プロジェクト

- ・最適エネルギー技術の導入支援
- ・次世代自動車の普及推進
- ・建設事業者の営業力、技術力強化(作り手育成)等



成果指標の項目	平成24年度 (基準値)	平成32年度 (目標値)	基準年比
再生可能エネルギー創出量	5.6PJ	11.9PJ	2.1倍
最終エネルギー消費量に対する再エネ比率	3.0%	6.8%	2.3倍
最終エネルギー消費量	190.1PJ	174.7PJ	-8.1%

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

1) 次世代エネルギー産業創出コンソーシアム(1)

設立趣旨

大学などの研究機関が有するシーズと企業の技術をマッチングさせ、産学官連携による技術の開発・製品化を促進し、次世代エネルギー産業の創出を目指すことを目的に平成26年9月に設立。〔県内外企業・自治体の39団体で構成〕

活動内容

(1) ワーキンググループ活動支援事業

コンソーシアム会員で構成するWGが行う、次世代エネルギーに関する調査・研究等の活動に対し、コンソーシアムから補助金を交付。 H27予算:1,000万円→H28:1,200万円に拡充

平成27年度 WG活動支援

小型風力発電関連市場開拓WG

- ・風力発電の適地選定のためのシミュレーション技術の開発
- ・既存の製品に比べ、発電効率の高い小型風力発電機の開発

次世代高機能断熱・遮断フィルムWG

- ・既存ガラスへ容易に貼付可能な断熱・遮熱フィルムの開発
- ※複層ガラス並みの性能を目指す(熱還流率3.8、遮蔽係数0.62)

次世代太陽電池パネル保守点検技術開発研究会

- ・固定価格買取制度により爆発的に普及した太陽光発電において、今後予測される大規模な保守点検作業のドローンによる効率化を目指す

地域バイオガス事業化研究会

- ・廃棄物から発生するバイオガス活用した地域へのエネルギー供給事業の事業化検討を行う

八百津町での水素社会の普及展開策検討

- ・太陽光や木質バイオマス等の再生可能エネルギー由来の水素を活用した、地産地消型エネルギーシステムの構築を目指す

(2) 講習会等開催事業

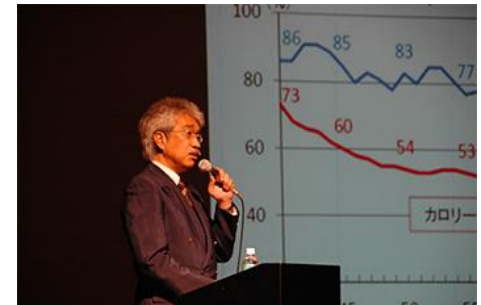
WGの形成を促進するため、先進的な研究・開発を行う大学や企業の講師による講習会の開催や、同取組を実施している施設等への見学会を実施する。



平成28年3月9日
岐阜バイオマスパワー見学



平成28年3月17日
技術講習会&会員交流会



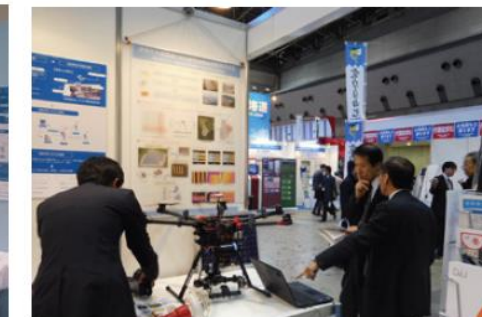
平成28年5月21日
やおつ水素エネルギーシンポジウム

(3) エネルギー関係展示会支援事業

WG活動による成果や、会員企業によるエネルギー関連の取組について広く情報発信を行うため、コンソーシアムによる共同出展を行う。



平成27年11月13日、14日
ものづくり岐阜テクノフェア2015



平成28年1月27日～29日
ENEX 2016



平成28年6月15日～17日
スマートコミュニティJapan2016

(4) 活性化検討会等の開催

コンソーシアム活動の活性化と会員による自発的な事業交流を推進するため、会員有志による活性化検討会や若手職員の交流・育成の場を開催する。

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

1) 次世代エネルギー産業創出コンソーシアム(2)

平成28年度 ワーキンググループ活動支援

平成28年度のWG活動支援補助金については、1200万円に拡充し10件を支援する。うち5件は、岐阜県次世代エネルギービジョンに深く関連した重点分野として位置づけ、特に手厚く支援。

重点分野

八百津町での水素サプライチェーン構築等

純水素型電熱水供給ユニット開発

純水素型FCの電力変換システム構築

小型モビリティによる周遊観光事業開拓

バイオマス熱利用事業化研究会

地域バイオガス事業化研究機会

次世代太陽電池パネル保守点検技術開発

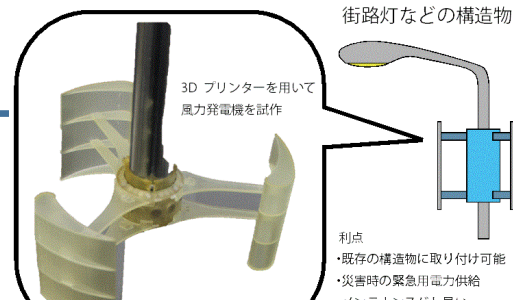
小型風力発電市場開拓

シリカコート事業化研究

再利用蓄電池の可能性調査



水素製造装置



小型風力



小型モビリティ周遊観光

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

2) 再生可能エネルギー総合支援窓口の設置

設置の目的

○再生可能エネルギーの円滑な普及推進を図るため、太陽光、小水力等の再生可能エネルギーを活用した発電事業に関する一元的な相談支援窓口を、県(新産業・エネルギー振興課内)に開設し、民間事業者等の相談支援にワンストップで対応するため、平成28年7月に設置。

総合支援窓口の運用

総合的な相談対応

■再生可能エネルギーを活用した発電事業の実施を検討している民間事業者等からの各種相談に幅広く対応。

総合情報サイトの開設

■岐阜県庁ホームページに情報ページを開設し、再生可能エネルギーを活用した発電事業の実施に係る関係法令の規制(自治体の独自規制を含む)の概要、必要な行政手続、担当窓口等に関する情報を一元的に提供。

情報共有の取組

- 再生可能エネルギー発電事業に係る県・市町村連絡会議の開催(平成28年6月13日)
- ・再生可能エネルギーを活用した発電事業に関する現状や課題の情報を共有。
- ・市町村が独自に定める条例、要綱等による規制等の情報を共有。

当課、関係各課、市町村との情報共有体制の確立

1 再生可能エネルギーの創出

3) 県有地での太陽光発電事業

県有地等を活用し、民間事業者による太陽光発電事業を展開

県有地活用事業

○美濃加茂エネルギーファーム

美濃加茂市牧野

(平成26年1月開設)

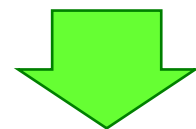
- ・太陽光発電 1.5MW
- ・敷地面積 2.4ha
- ・年間発電量 157万6千kWh
(一般家庭450世帯分の年間需要に相当)



県有施設活用事業

(平成25年度)

- 岐阜高校(岐阜市)
- 岐阜北高校(岐阜市)
- 大垣北高校(大垣市)
- 海津明誠高校(海津市)
- 可茂特別支援学校(美濃加茂市)
- 恵那高校(恵那市)
- ・太陽光発電 6校合計 248kW



県有地での新たな太陽光発電事業に着手

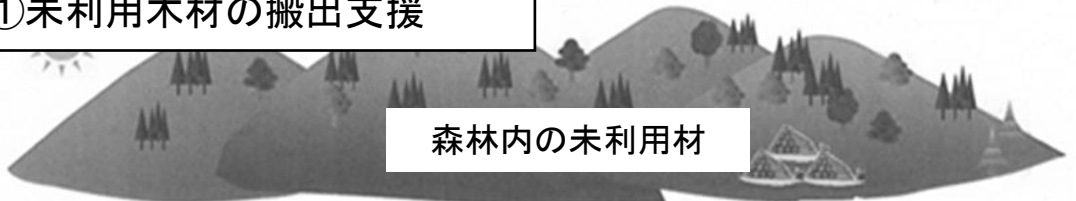
- 所在地：美濃加茂市牧野
- 敷地面積：約1.9ha
- 最大出力：1.5MW程度
- 発電開始：平成29年11月(予定)

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

4) 地産地消型木質バイオマスエネルギー活用プロジェクト(県産材流通課)

木質バイオマスの地域内利用(熱・電気)

①未利用木材の搬出支援



(供給者の人材育成)



- 未利用材の効率的な収集方法の研修会
- 国のガイドライン、県の支援制度等の勉強会

(搬出・集荷の支援)



- 未利用材の搬出支援(木の駅プロジェクト)
- 搬出・集荷用の機械購入の支援

未利用材搬出

②燃料製造施設の整備支援

(木質ペレット・チップ製造施設)



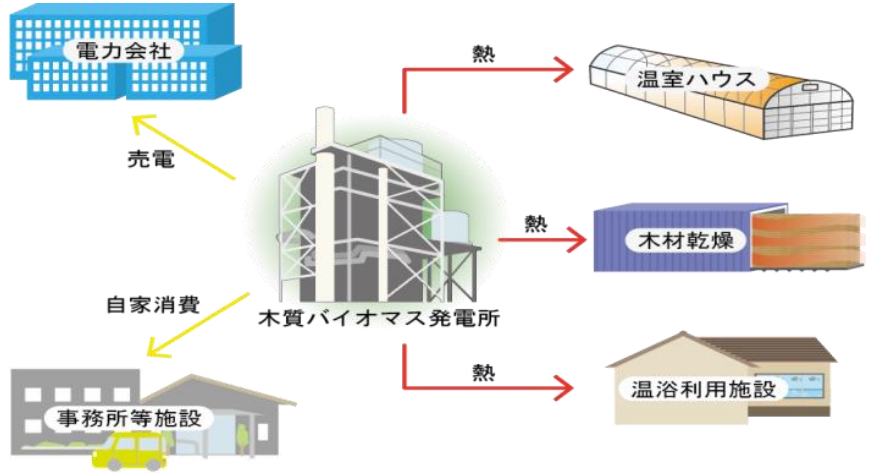
木質燃料

(中間土場でのチップ製造)



体制構築支援

③中小規模の木質バイオマス利用施設の整備支援



飛騨地域木質バイオマスエネルギー利用推進協議会

※平成28年度は飛騨地域において設立

④燃料の安定供給体制構築の支援

○委員

- ・木材生産者
- ・燃料製造者
- ・木質バイオマス利用者
- ・学識経験者 等

○オブザーバー

- ・国
- ・県
- ・市町村 等

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

5) 県営ダムへの小水力発電施設の整備(河川課)

1 県営ダムへの小水力発電施設の整備

平成23年度 県営ダムの発電の可能性について、中部電力株式会社に検討を依頼

平成24年度 阿多岐ダム、丹生川ダムでの整備が決定

平成28年11月4日 内ヶ谷ダムの発電事業者を公募開始 (参加申込期限: 平成28年12月2日)

2 岐阜県のダム

名称	阿多岐ダム	丹生川ダム	岩村ダム	大ヶ洞ダム	中野方ダム	内ヶ谷ダム (参考)
所在地	郡上市	高山市	恵那市	下呂市	恵那市	郡上市
堤高 (m)	71.4	69.6	35.8	42.5	41.7	84.2
堤頂長 (m)	200.0	227.0	144.0	238.0	390.0	270.0
堤体積 (万m ³)	19.5	23.1	4.8	12.7	13.9	33.0
総貯水容量 (万m ³)	255	620	18	45	41	1,150

3 小水力発電施設の状況

※内ヶ谷ダムは建設中

名称	阿多岐ダム	丹生川ダム	内ヶ谷ダム
最大出力	190kW	350kW	680kW
最大使用水量	0.70m ³ /s	1.00m ³ /s	2.50m ³ /s
年間可能発電電力量	130万kWh 約360世帯分	210万kWh 約580世帯分	417万kWh 約1,150世帯分
運転開始日	H27.7.7	H28.6.29	H35予定

※内ヶ谷ダムは試算値



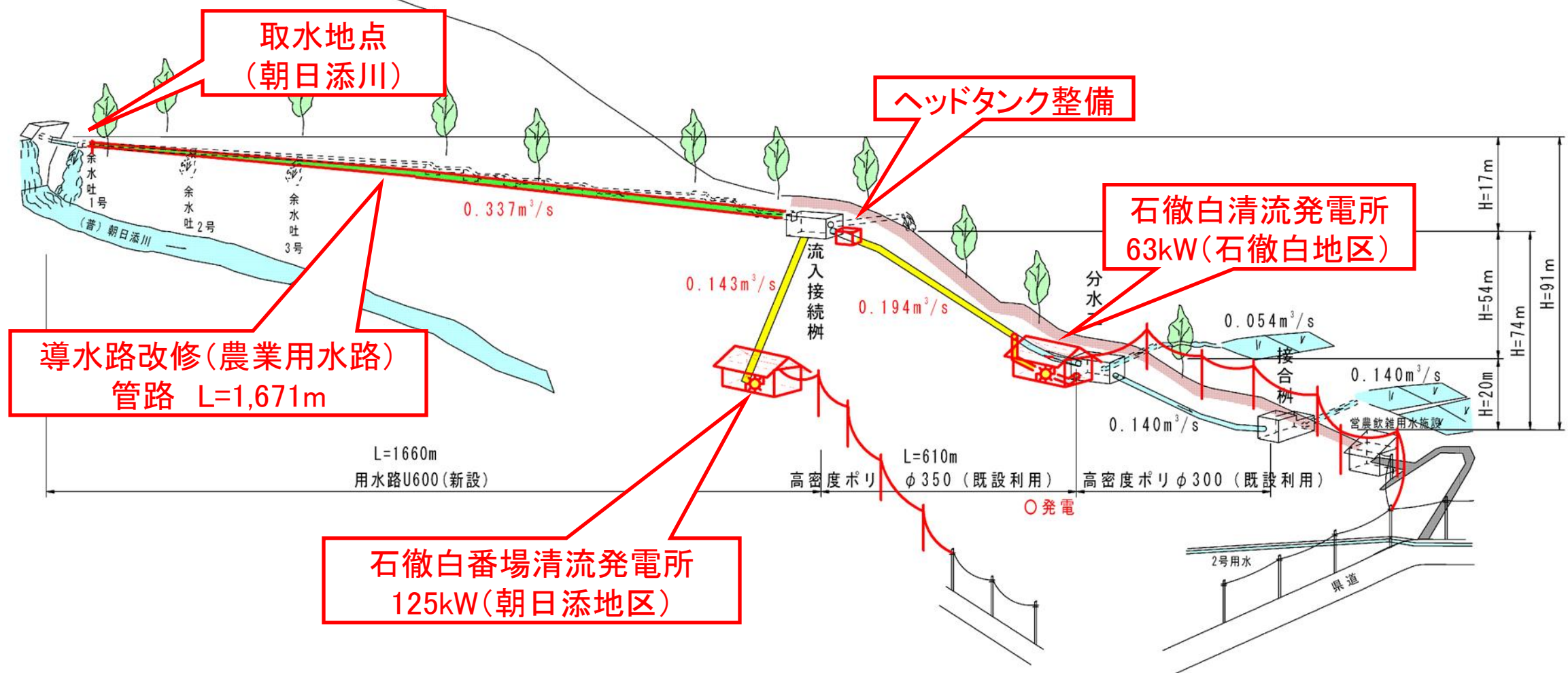
丹生川ダムと水力発電所

1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

6) 農業水利施設を活用した小水力発電施設の整備(農地整備課)

農業水利施設（農業用水等）を活用した小水力発電を整備し、土地改良施設等の維持管理費の節減や低炭素社会づくりの促進を図る。
県が実施検討及び施設整備を実施し、発電事業者が維持管理を行う。

石徹白清流発電所 イメージ図



1 再生可能エネルギー創出プロジェクト

6) 農業水利施設を活用した小水力発電施設の整備(農地整備課)

農水省助成(公共)
県営農村環境整備事業
 【売電収益の充当先】①②③

(県営県単)
小水力発電施設整備事業
 【売電収益の充当先】①～⑤

(県単補助) ※H26創設
小水力発電活用支援事業
 【売電収益の充当先】①～⑦

- 【売電収益の充当先】
- ①土地改良施設の維持管理費
 - ②発電施設の運営費
 - ③農村振興施設の電気代
 - ④地域振興施設(公民館等)の電気代
 - ⑤農村振興(6次産業化等)に資する活動
 - ⑥営農に必要な施設の電気代
 - ⑦農村集落の生活環境維持に必要な公共活動費(草刈、除雪、集落道補修等)

農業水利施設を活用した小水力施設整備実施地区 一覧

事業名	地区名	最大出力 kW	完成/予定	市町村名	発電事業者
(公共) 県営農村環境整備事業	加子母小郷	220	H26.2	中津川市	中津川市
	石徹白	63	H27.6	郡上市	郡上市
	宮地	50	H29	池田町	池田町
	岩本用水	52	H29	関市	関市
	日面用水	108	H29	郡上市	郡上市
	石神用水	110	H30	飛騨市	飛騨市
	飛鳥川用水	44	H30	揖斐川町	揖斐川町
	鎌瀬用水	49	H30	恵那市	恵那市
	干田野	81	H30	郡上市	郡上市
	気良	35	H31	郡上市	郡上市
(県営県単) 小水力発電施設整備事業	荘川町中央用水	36	H31	高山市	高山市
	名倉用水	150	H28	揖斐川町	揖斐川町
	下辻南用水	64	H28	揖斐川町	揖斐川町
	諸家	190	H28	揖斐川町	揖斐川町
(県単補助) 小水力発電活用支援事業	戸島用水	128	H30	白川村	白川村
	朝日添	125	H28.6	郡上市	石徹白農業用水農業協同組合
	数河	49	H29	飛騨市	J A ひだ
最大出力合計		1,554			



2 地産地消型エネルギーシステムの構築

1) 水素社会の実現に向けた取り組み(八百津町)

八百津町をモデルとして水素社会の実現に向けたプロジェクトを推進

岐阜県、八百津町、国立大学法人岐阜大学、(株)清流パワーエナジー、森松工業(株)及びブラザー工業(株)の6者が連携協定(平成28年7月26日締結)に基づき、「中山間地域における水素社会モデル」を八百津町で実現するプロジェクトを推進

プロジェクトの目標

水素社会の実現に向け、八百津町をモデルに木質バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーから創出した水素エネルギーを有効活用する「地産地消型エネルギーシステム」の構築・実証を行うとともに、新たな地域産業・雇用の創出等による地方創生を推進。

八百津モデルを他地域へ展開



中山間地型水素社会の構築による
100%エネルギー自給自足のまち八百津プロジェクト

平成28年10月
「分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定事業」に採択

総務省

岐阜県

平成28年9月補正予算
「地方創生型スマートコミュニティ構築支援事業費補助金」を活用予定

2 地産地消型エネルギーシステムの構築

2) 次世代エネルギーインフラの普及推進

前ビジョンに基づく取組として、次世代エネルギーインフラの本格普及の準備として、6タイプのモデル施設を平成22年度から順次整備。これらの実証データの公開等によりシステムの有効性に関する周知等が進んだ。

○整備施設数 17ヶ所

○道の駅 防災機能強化型次世代エネルギーインフラ

自立電源を有する次世代エネルギーインフラの特性を活かし、災害発生から、72時間以上、電力を供給し、避難所として機能することが可能な設備を整備

平成24年度 星のふる里ふじはし(揖斐川町)

平成26年度 南飛驒小坂はなもも(下呂市)、明宝(郡上市)、
茶の里東白川(東白川村)

平成27年度 飛驒白山(白川村)、清流白川クオーレの里(白川町)、
そばの郷らっせいみさと(恵那市)



次世代エネルギーインフラの市町村施設への普及

12市町村32施設(庁舎、学校、公民館等)に次世代エネルギーインフラが整備され、今後も順次整備予定。

(整備施設) 高山市国府福祉センター、中津川市苗木交流センター、神戸町保健センター、東白川村役場庁舎、御嵩町向陽中学校 ほか

3 省エネルギーの推進

1) 家庭における省エネの推進(環境管理課)

ecoCO₂
省エネ診断

うちエコ診断

～うちエコ診断でわかる3つのポイント～

**今エネルギーを
どれだけ使ってる?**

あなたの家では!
100世帯中...
50位
です!

ご家庭の光熱費をグラフで見ることができ、お住まいの地域の中でランキング形式で比較できます!

**エネルギーを
どこで使ってる?**

ご家庭でエネルギーを使っている場所や、その使用割合をグラフで見える化します!

**どうやって
使用量を減らす?**

ライフスタイルに合わせて、うちエコ診断士が、今後の対策の相談やアドバイスをします!

無料で診断! ※図はイメージです

環境にも **おサイフ** にも やさしいライフスタイルへ
さらに...

うちエココンテストを開催

うちエコ診断受診者 の内、うちエココンテスト に別途申込み頂いた方の中から、CO₂削減率・ユニークな省エネ対策を評価対象に、計10世帯を表彰します!
受賞者の方には1万円相当の省エネ商品を贈呈いたします!

※本事業は岐阜県の委託事業として、岐阜県地球温暖化防止活動推進センターが実施しています。

1 申し込み

診断申し込み

各家庭から診断実施機関へFAX・電子メール・郵送またはWebにてお申込みください。

診断日時の決定

診断実施機関が診断士と受診者の診断日時を調整し、診断日時を連絡します。

2 アンケート回答

事前アンケートの提出

診断日の1週間前までに、光熱費、使用家電、住宅設備などについてのアンケートを記入し、診断実施機関へ送付ください。Webによるご回答も可能です。

3 診断

診断士による対面診断

診断士が専用の診断ソフトを用いて省エネ・省CO₂をアドバイスします。

CO₂排出量
光熱費
down!

4 実践

事後アンケートの提出

受診後、約3か月後に、省エネ対策実施状況、生活の変化などについてアンケートに回答し、診断実施機関へ送付ください。Webによるご回答も可能です。

「うちエコ診断」の受診世帯拡大
平成28年度 300世帯診断見込

WARM SHARE

自然でクールシェア

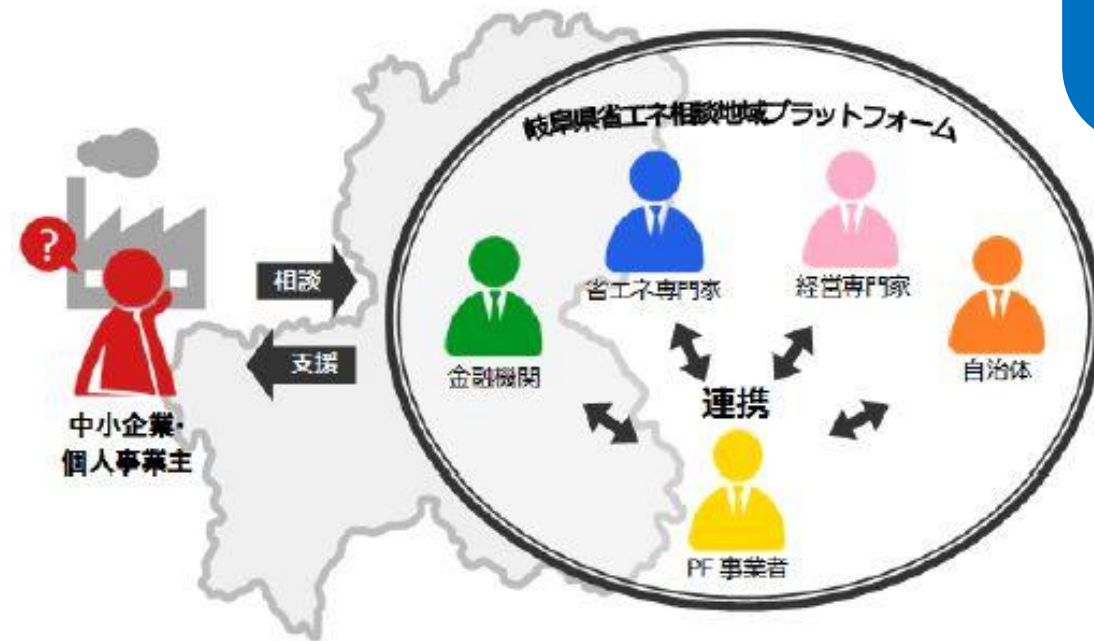
まちでクールシェア

クール(ウォーム)シェアの推進
クールシェアスポット: 158ヶ所
ウォームシェアスポット: 100ヶ所見込

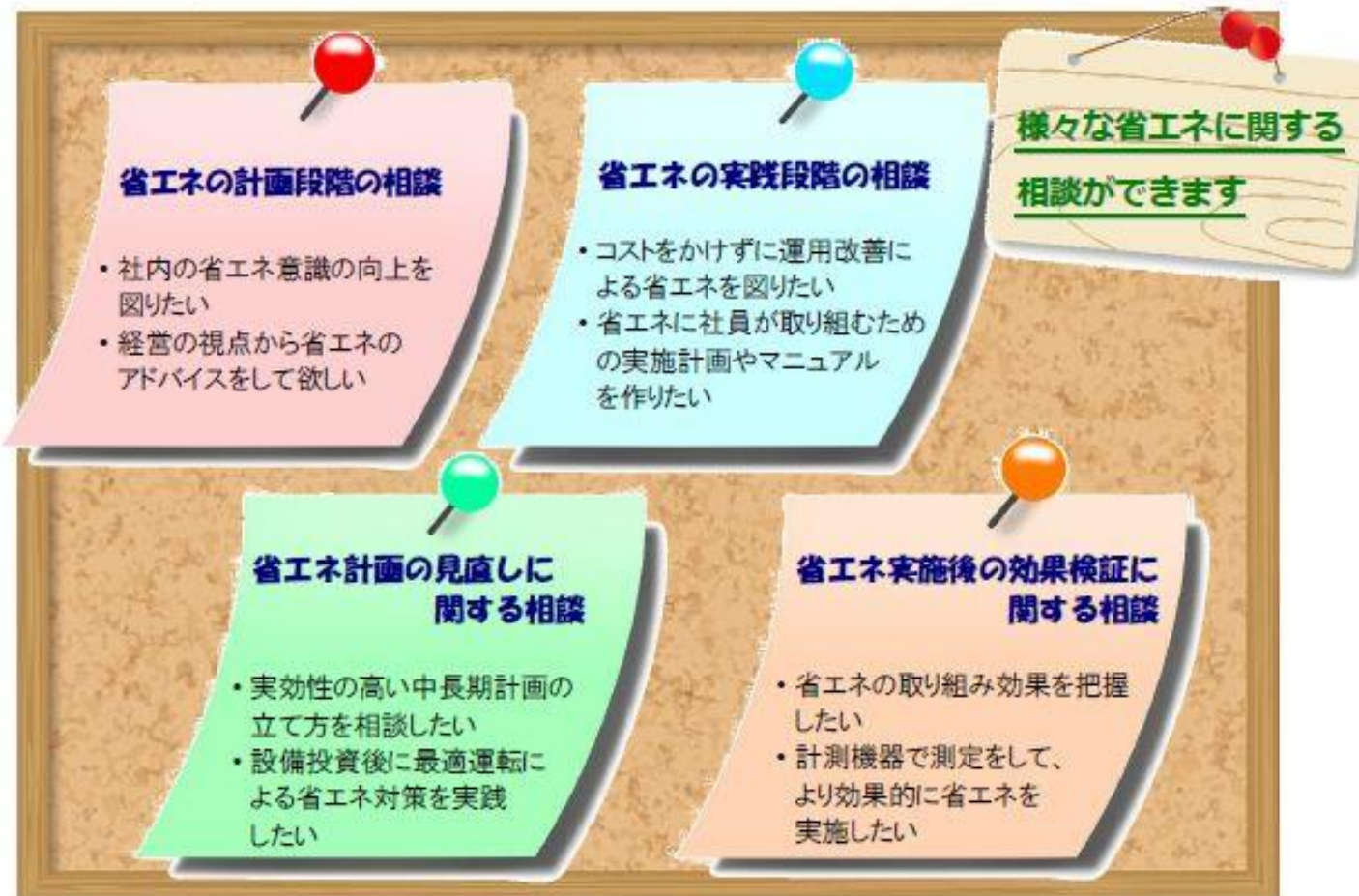
3 省エネルギーの推進

2) 岐阜県省エネ相談地域プラットフォーム事業の実施

事業者における省エネ推進と産業競争力強化のため、岐阜県地球温暖化防止活動推進センターにプラットフォーム窓口を設置(平成28年度)



経済産業省の「省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業」により実施します。岐阜県では当センターが採択され、岐阜県や(公財)岐阜県産業経済振興センター、(一財)省エネルギーセンターなどと連携して県内の中小企業の省エネルギーに係る取り組みを支援します。



○省エネアドバイザーを派遣

省エネルギー対策によるコストダウンや経営改善を希望する企業に、エネルギー管理士など国家資格を有する省エネルギー対策の専門家等を派遣して支援。

○支援事業者数:24社(H28.11)

○省エネセミナーを開催

平成28年10月7日 高山市開催

平成28年10月17日 岐阜市開催

○参加事業者数計:約90名

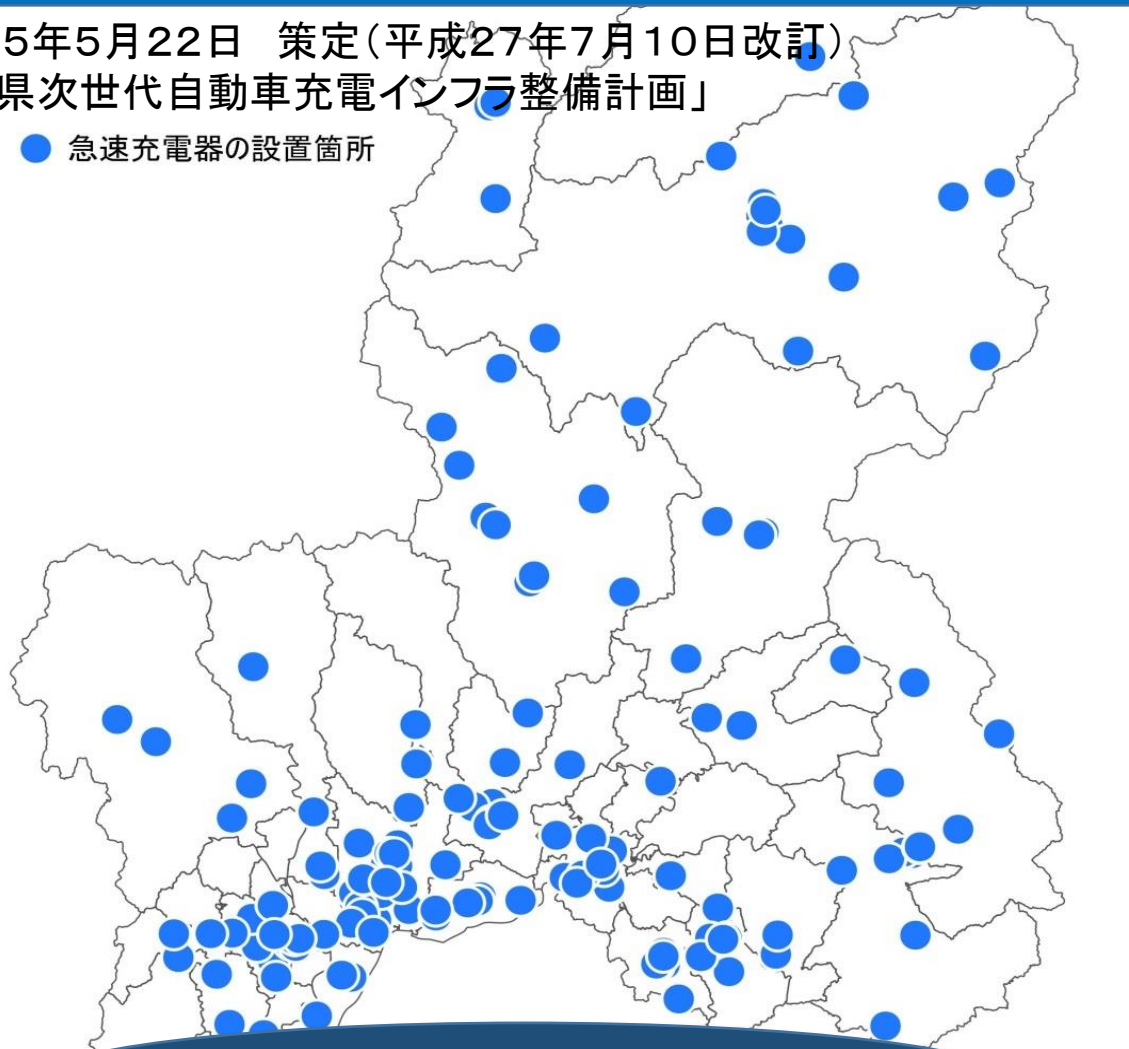
3 省エネルギーの推進

3) 次世代自動車(EV・PHV)の普及推進(1)

前ビジョンから引き続き、運輸部門の省エネルギーを推進するため、次世代自動車の普及推進を図る。

平成25年5月22日 策定(平成27年7月10日改訂)
「岐阜県次世代自動車充電インフラ整備計画」

● 急速充電器の設置箇所



次世代エネビジョンの目標

目標の項目	平成27年度 (基準値)	平成32年度 (目標値)
EV・PHV普及台数	2,649台	54,500台
充電インフラ整備数(急速)	123ヶ所	313ヶ所

整備計画進捗状況(H27年度末時点) (基)

設置者	急速充電器	普通充電器
道の駅	35	8
公共施設	5	0
ディーラー	35	12
自動車関連企業	3	9
宿泊施設等	7	85
ショッピングセンター	7	7
コンビニ	23	0
その他	8	16
合計	123	137

3 省エネルギーの推進

3) 次世代自動車(EV・PHV)の普及推進(2)

EV・PHVの普及啓発活動の一環として、これまで長野県白馬村のみで開催されていた「ジャパンEVラリー」を、平成28年度より岐阜県内へエリアを拡大して開催。

〔日程〕 7/16(土)～7/18(月〔祝日〕)

〔県内開催エリア〕 奥飛騨温泉郷、乗鞍スカイライン、飛騨・世界生活文化センター

Official Information

第3回
ジャパンEVラリー2016
白馬～乗鞍～高山

高山市制施行80周年記念

【開催日程】
2016年7/16(土)～7/18(月・祝)

【主催/白馬会場】 一般社団法人日本EVクラブ
【主催/乗鞍-高山会場】 ジャパンEVラリーin乗鞍 & EV・PHEV試乗会in高山実行委員会
【協力】 白馬EV推進協議会/岐阜県/高山市
【後援】 白馬村/白馬村観光局/経済産業省/環境省(予定)

参加申込はウェブサイトから!
「ジャパンEVラリー」は事前の参加申込が必要です。
特設サイトからお申込ください。
<http://jev.c.gr.jp/rally2016/>

参加申込
受付中!

The Rally to the Clouds!

電気自動車の夏祭り!

長野県白馬村を舞台にした「ジャパンEVラリー」が3日目を迎えてスケールアップ。
今回は、白馬に無事リターンして、解散する「白馬・レッドクラス」、
白馬から高山へ走る「エキスポードクラス」、
岐阜県側から乗鞍に走る「ファミリークラス」の3つの参加クラスを設定。
さらに標高2,700mの夏草へ向けて乗鞍スカイラインをEVで走って(予定)のみ
にポイントで「スペシャルステージ」を設けました。
レンタカーなどでの参加も可能です。

気軽に参加できる「集合型」ラリー

タイムや遠征を争う競技ではなく、
全国各地から白馬と高山の「ゴール」を目指し、
参加者同士が交流したり、観戦を楽しんだり、
参加することに意義があるイベントです!

最新EV・PHEVモーターショー
in 高山

【主催】 ジャパンEVラリーin乗鞍 & EV・PHEV試乗会in高山実行委員会
【運営】 一般社団法人日本EVクラブ(協力) 岐阜県/高山市
【後援】 経済産業省/環境省(予定)

申込不要
入場無料

日本とヨーロッパのEV&PHEVが大集結
気持ち「e」試乗を体感しよう!

日時/2016年7月18日(月・祝)
会場/飛騨・世界生活文化センター

トヨタ、日産、メルセデスベンツ、BMW、フォルクスワーゲン、アウディ、ボルシェ、ポルシェ……、
日本はもちろん、ヨーロッパの最新EV・PHEV(プラグイン・ハイブリッド)やFCVが飛騨高山にやってくる。
抽選で、最新EV・PHEVの1ヶ月無料貸し出しなどのチャンスもあります(予定)!

地元のおいしい8割グルメの屋台も登場。食べて、見て、楽しんでしよう!

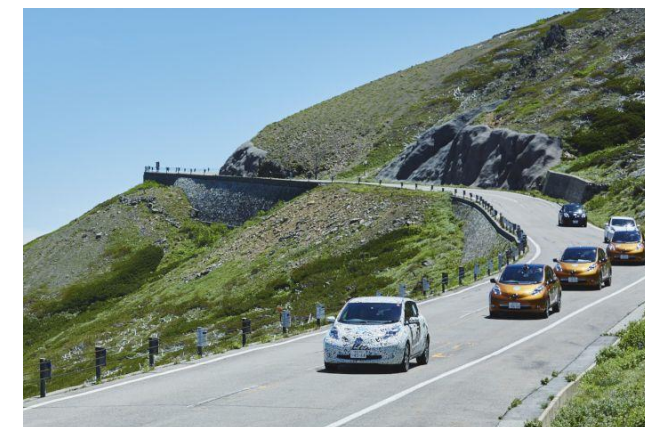
Program

7/18(日・祝)

10:00～16:00 EV-PHEV(プラグイン・ハイブリッド)試乗会
会場: 飛騨・世界生活文化センター-駐車場
国内外メーカーの最新EV・PHEVに試乗できます。また、専門員からいろいろなお話を聞けます。
※ 先着順申込受付(要予約)。
※ 一部、有料試乗となる場合があります。

13:30～15:00 フォーラム「観光と自然の共生を考える(仮)」
会場: 飛騨・世界生活文化センター-内とコシヤター
EV・PHEVを活用して、自然と共生できる観光のカタチを模索することはできるのか、観光と自然
が共生するための方法について考えます。
パネリスト/高野隆之(JTBコーポレートセールス)、地元観光関係者、県内EV日本EVクラ
ブ代表(ほか)(予定)

14:00～15:00 自動車ジャーナリスト座談会
「電気自動車ってもうホントに使えるの?」&「あなたの感想を聞かせてください」
会場: 飛騨・世界生活文化センター-駐車場(モーターショー開催会場)
著名自動車ジャーナリストによる座談会。「電気自動車ってもうホントに使えるの?」を本音で語
ります。また、当日試乗したみなさんに感想インタビューを行い、アンケートへのコメントなどを
ご紹介いたします。
パネリスト/柳澤直樹、白田由美、今井優香(ほか)(予定)



3 省エネルギーの推進

4) 次世代自動車(FCV)の普及推進(1)

来るべき水素社会構築の第一歩として、平成28年3月30日(水)に燃料電池自動車に水素を供給する県内初の移動式水素ステーションを、岐南町と土岐市に整備。
同時に、燃料電池自動車MIRAI(ミライ)を県内自治体として初めて公用車へ導入。



MIRAI納車式



水素ステーション開所式

次世代エネビジョンの目標

目標の項目	平成28年度 (現況値)	平成32年度 (目標値)
FCV普及台数	12台	1,059台
水素ステーション普及基数	2基	10基

3 省エネルギーの推進

4) 次世代自動車(FCV)の普及推進(2)

- (1) 市町村環境イベントでの展示・試乗会を実施
- (2) 小中学校の環境学習で出前講座を実施
- (3) 企業経営者向けの試乗会及び水素STに関する説明会を実施

◆平成28年度
12市町15事業で活用

■市町村環境イベント



■小学校への出前講座の様子(大垣市立東小学校)



■企業経営者向けの試乗会及び水素STに関する説明会の様子



実施時期	開催地	イベント名	概要	予想来場者数等	◎ 試乗会有り ○ 展示のみ
平成28年4月23日(土)~24日(日)	大垣市	環境市民フェスティバル	市内事業者と市民等による環境に関する展示会	約3千人	○
平成28年5月19日(木)	大垣市	東小学校4年生総合的な学習	地球温暖化等の地球環境に関する学習	約100人	◎
平成28年5月21日(土)	八百津町	やおつ水素エネルギーシンポジウム	八百津町での水素社会に向けた取組と今後の展望について考えるシンポジウム	約3百人	◎
平成28年6月4日(土)~5日(日)	大垣市	元気ハツラツ市	駅前通りを歩行者天国としたイベント	約2万人	○
平成28年7月30日(土)~31日(日)	瑞浪市	環境フェアみずなみ2016	市民一人ひとりが地球環境について理解と関心を深めるために、環境に関する(自然、生き物、新エネルギー、ゴミなど)イベント・展示を開催する	約600人	◎
平成28年9月25日(日)	高山市	のりものフェスタinたかやま	公共交通の利用促進を目的として、様々な乗り物体験ができるイベント	約2千人	○
平成28年10月1日(土)~2日(日)	山県市	山県市ふるさと栗まつり2016	栗をテーマとして山県市のPRと来場者の交流を深めることによる地域活性化を目的としたイベント。	約5万人	○
平成28年10月7日(金)	岐南町	清流パワーエナジー 岐南ステーション見学会	企業経営者が多数加盟する岐阜加納ロータリークラブ会員向けの見学会を実施する	30人	◎
平成28年10月15日(土)~16日(日)	七宗町	道の駅「ロックガーデンひちそう」まつり	多目的催事場建設に伴う竣工式と町内業者の活性化及び、町のPRのため、道の駅においてイベントを行う	約1,000人	◎
平成28年10月22日(土)~23日(日)	羽島市	なまず祭り	地域振興を目的とした祭	約7千人	○
平成28年10月29日(土)~30日(日)	恵那市	えな環境フェア2016	市民と行政の協働運営による環境企画展	約2,500人	◎
平成28年11月6日(日)	美濃加茂市	e-kamonまるごと環境フェア2016	生物多様性・地球温暖化防止等の環境保全啓発	約4000人	○
平成28年12月2日(金)	羽島市	羽島市立正木小学校総合的な学習	5年生の総合的な学習の時間において、FCVなどの次世代の自動車について学習する。	約100人	◎
平成29年1月20日(木)	岐阜市	長森南中学校総合的な学習	1年生の総合的な学習の時間において、FCVを通じた環境教育を行う。	約100人	◎
平成29年2月25日(土)~26日(日)	御嵩町	環境フェア2017	二酸化炭素を排出しないFCVのPRを行うことで環境モデル都市の取組を推進させる。	約1,000人	◎

3 省エネルギーの推進

5) ゼロエネルギーハウスプロジェクトの推進

岐阜県らしいゼロエネルギーハウスの普及促進

住宅・建築物の次世代省エネルギー基準が、平成32年度から新築住宅・建築物への適合義務化されるにあたり、県産材の利活用、太陽光発電など再生可能エネルギー設備の設置、燃料電池や地中熱利用等の高効率エネルギー利用機器の導入による省エネを推進し、岐阜県らしいゼロエネルギーハウス(ZEH)の普及促進に取り組む。

岐阜県次世代住宅普及促進協議会

次世代住宅関連産業の育成を通じて、住宅等への省エネ対策及び次世代エネルギーインフラの普及促進、エネルギー環境問題への対応、県内産業の振興を図ることを目的に、平成25年3月設立。

次世代関連産業に関心の高い、事業者(ハウスメーカー、工務店、設計事務所、建材・設備メーカー、施工業者、部材メーカー等、団体又は自治体、及び学識経験者)で構成。会員数228事業者

人材育成事業：次世代住宅塾の開催

建築実務者のZEHに関する総合的な知識向上を図るため研修「次世代住宅塾」を平成25年度から開催。

平成27年度は、既存住宅の省エネ機能をもつ改修手法に関して「次世代住宅塾 省エネリノベーション編」を建築実務者向けに全6回開催し、延べ167名が参加。また、県民向けに省エネ講演会とゼロエネハウス見学会を開催し、25名が参加。



平成27年度次世代住宅塾(事業者向け)
10/9,10/21,10/26,11/25,12/1,1/22開催



平成27年度県民向けモデルハウス見学会
H28/2/27開催

平成28年度は、これまでの次世代住宅塾の成果を踏まえた次世代住宅に関する教材(ガイドライン)の制作と、教材を用いた研修(平成29年2月)を開催。

人材育成事業：次世代住宅研究会の開催

建築実務者の現場での施工技術向上を目的とし、ZEH施工に関する実験、勉強会、意見交換などを実施。

平成27年度は、冬季における結露対策及びZEH施工における不具合ワークショップを開催。



平成27年度研究会(平成28年1月29日開催)



平成28年度はZEHに求められる省エネ・低炭素設備に関するワークショップ・勉強会を開催。



平成28年度研究会(平成28年9月15日開催)

